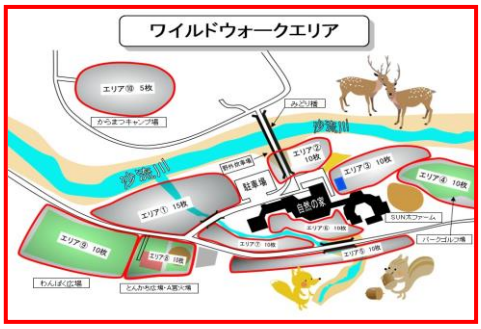
『冬のワイルドウォーク』

スノーシューをはいて自然の家周辺に設置された１００枚の看板をグループで探しまわり、できるだけ多くの看板を発見することを目標にします。発見が難しい看板ほど、高得点が得られます。仲間と話し合いながら歩くことで、ただ歩いていただけでは気付かない、自然の素晴らしさを感じられます。また、活動時間を調整しやすいメリットがあります。



【 時　期 】　１２月～３月

【所要時間】　１時間～1.5 時間

【 対　象 】　小学校中学年以上
＊職員の指導はありません。

【 準　備 】　（個　　人）雪の中での活動に適した服装、帽子、ネックウォーマー、飲料水、筆記用具、クリップボード
（団　　体）時計（グループで一つ）
（自然の家）得点記入用紙、スノーシュー

【 展開例 】
1．天候および天気予報の確認、参加者の体調、参加者数と待機人数をしっかり把握する。
2．つどいの広場に集合し、説明と注意事項を伝える。（出発前に、作戦タイムを設定するなどの工夫も有効である）。
3．指導者は危険が予想される場所に立って、活動者の安全確保をする。
4．アクシデント（道に迷った・けが人が出た等）が起こった場合には、自然の家事務室に連絡する。

【指導上の留意点】
1．できるだけコースの下見を行い、コースの状況、危険個所、休憩場所を確認する。
2．人数に応じて、グループ編成（１グループ４～５人）をする。
3．参加者に持ち物など事前指導をする等、準備を整えておく。
・ゴミはすべて持ち帰る。
・川の近くや禁止エリアに行かないよう指導する。
・近くを車が通ることがあるので、注意する。
・集合時間に遅れた場合は、１分につき１００点減点等、団体のねらいに応じてルールを設定する。

【参　考】　◎特別活動　～　自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。

教科との関連